

■  
公開シンポジウム  
「ミクロ統計の利用と統計教育 ー国際比較の視点からー」 (ご案内)  
■

(開催趣旨)

国民目線による統計調査・意識調査の方向性の検討分科会の活動の成果 (アウトプット) を広く社会に還元するため、ミクロ統計データの利用と統計教育に関する公開セミナーを平成25年4月19日に開催いたします。統計調査・意識調査を継続・拡充することの社会的意義の重要性、統計調査データの学校教育 (特に小中学校教育) における利用の奨励、さらに、社会の現実と変化を知り、社会の課題を解決するための手段としての統計の利用を図るため、統計学を高等教育のカリキュラムに必修科目として組み込むことなどについて、取り上げます。

- ◆日 時 : 平成25年4月19日 (金) 13:00~17:00 (12時30分開場)
- ◆会 場 : 日本学術会議6階会議室 (東京都港区六本木7-22-34)

プログラム

司 会 樋口 美雄 (日本学術会議第一部会員、慶應義塾大学商学部教授)

問題提起 野口 晃弘 (日本学術会議連携会員、名古屋大学大学院経済学研究科教授)

報告 1 「政府ミクロ統計データの公開と利用」  
廣松 毅 (日本学術会議特任連携会員、  
情報セキュリティ大学院大学情報セキュリティ研究科教授)

報告 2 「公的助成によるミクロ調査データの公開と利用」  
前田 幸男 (東京大学社会科学研究所准教授)

報告 3 「初等・中等教育における統計資料の活用」  
椿 広計 (日本学術会議連携会員、  
情報・システム研究機構統計数理研究所副所長・教授)

報告 4 「高等教育における統計教育」  
美添 泰人 (日本学術会議連携会員、青山学院大学経済学部教授)

総括 津谷 典子 (日本学術会議第一部会員、慶應義塾大学経済学部教授)

質疑応答とフロア・ディスカッション

※ 一般公開。参加費は無料。定員 70名。事前予約無

詳細については、以下のURLを御覧ください。  
<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/168-s-1-2.pdf>

【お問い合わせ先】

野口晃弘 (日本学術会議連携会員・名古屋大学教授)  
E-mail:noguchi@soec.nagoya-u.ac.jp

日本学術会議事務局第一部担当 嶋津 (TEL : 03-3403-5706)

★-----☆  
日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。  
アカウントは、@scj\_info です。  
日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから  
[http://twitter.com/scj\\_info](http://twitter.com/scj_info)

☆-----★  
\*\*\*\*\*  
学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから  
<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>  
\*\*\*\*\*

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>  
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34